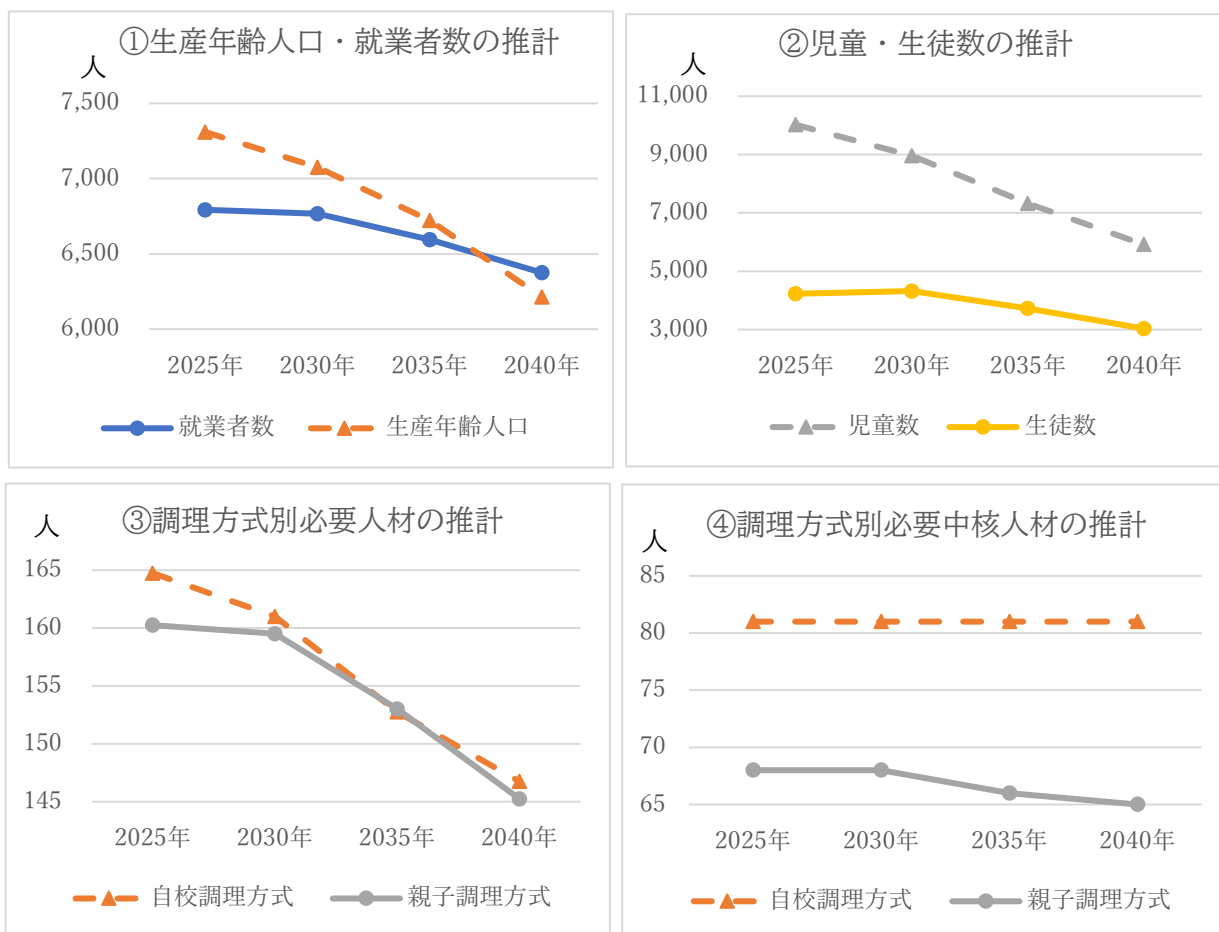


## 人材確保について

## 1 調理方式別必要人材の推計

生産年齢人口・就業者数の推計により今後の人材不足が懸念されるが、本市の児童・生徒推計を基に、調理別必要人材及び調理方式別必要中核人材を推計する。



- ① 独立行政法人労働政策研究・研修機構『2023 年度版労働力需給の推計』（成長率ベースライン・労働参加漸進シナリオ）及び「日本の将来人口推計（令和5年4月）」（中位推計）を基に作成  
 ② 西東京市人口推計（令和4年度）及び令和7年5月児童・生徒数を基に作成  
 ③・④ 上記②を基に現行の親子調理方式が継続した場合及び、全校を自校調理方式に変更した場合について、調理員及び中学校配膳員の配置基準、給食配送委託業務仕様書を参照して作成

児童・生徒数＝食数の減少に伴い、必要人材の総数は、親子調理方式及び自校調理方式共に総数は減少していく。しかし、調理を主に担う中核人材については、自校調理方式が親子調理方式を上回るとともに、現状と同数を下回ることがない。

調理に係る中核人材の確保を見据えると、親子調理方式の継続が望ましい。